

テレワーク・デイ実施風景

テレワーク・デイ実践事例集 (H29)



今回のテレワーク・デイは月曜日。合計3拠点を繋いで遠隔でグループミーティングを実施。

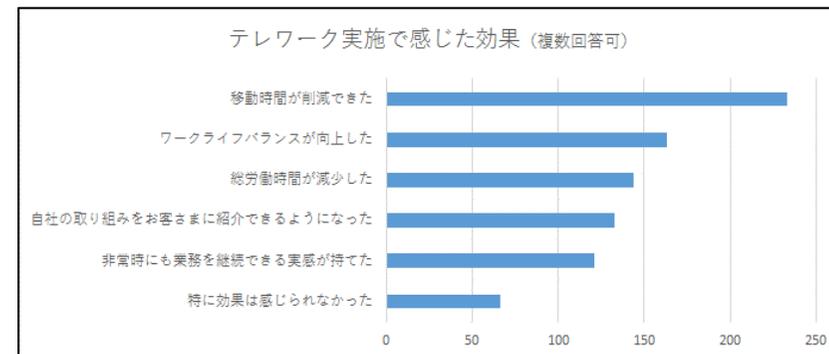
子どもの夏休みに合わせて在宅勤務で参加するメンバーもいれば、朝一番のお客様との商談を終えてサテライトオフィスから参加するメンバーもいます。

それぞれの状況に合わせて場所や時間をフレキシブルに選びながら、より効率的に働くスタイルを実践しています。

所在地 (市区町村)	東京都港区、神奈川県横浜市など13の市区町村で実施
従業員人数	5000～9999人
実施人数	338人 (効果測定アンケート回答者数) ※ 現行の制度利用者を対象としてテレワークを実施 ①育児・介護向け在宅勤務制度適用者 (56人回答) ②営業向けリモートワーク制度適用者 (282人回答)
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自宅、実家 ✓ 自社専用のサテライトオフィス ✓ 共用のサテライトオフィス (会社が指定したコワーキングスペース) ✓ 訪問先、出張先 ✓ 移動中の交通機関
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現行のテレワーク制度の適用者※にテレワーク・デイにおける積極的な利用を呼びかけ ✓ テレワーク・デイ当日の様子を社内SNSにて写真付きで投稿 ✓ 取組み結果を社内イントラネットにて広報 <p>※ 育児・介護向け在宅勤務制度および営業リモートワーク制度の適用者</p>

実施結果

- ✓ 公共交通機関の利用
テレワーク・デイ当日、少なくとも10時30分までの間に338人がテレワークを実施し、普段、通勤に利用している公共交通機関の利用を抑制。
- ✓ 購買行動の変化
実施者の約25%が普段のオフィス勤務時より消費が増えたと回答。
- ✓ テレワークの効果として、移動時間を効率的に利用することにより、労働時間の効率化やワークライフバランス向上に繋がることを改めて確認した。



- ✓ 当社ではコミュニケーションツール活用や文書電子化など働き方変革を進めており、対象者の約半数はテレワークについて課題を感じていないと回答。一方、まだまだ変革は道半ばであることも明確になり、さらなる徹底が必要であることを再認識できた。

